

鋼管圧入工法(アンダーピニング工法)

年度	2003年完成(2008年補修)
場所	関東地方
構造	木造枠組壁工法
階数	2階
延べ面積	140 m ²
用途	一戸建ての住宅

補修の特徴

1. 変形傾斜(傾斜が一様でない)タイプの不同沈下対策として鋼管圧入工法(アンダーピニング工法)により、沈下修復。
2. 基礎ひび割れ、及び基礎下杭挿入による基礎の構造耐力不足箇所について、鉄板添え補強(写真4)。



写真1 鋼管圧入状況



写真2 鋼管圧入状況(鋼管杭頭部分)



写真3 鋼管圧入後の建物ジャッキアップ状況



写真4 基礎立上り側面の鉄板補強

解説

鋼管圧入工法は、建物の重量を反力として、基礎の真下にジャッキをかけて短い鋼管を圧入し(写真1、2)、溶接して鋼管を継ぎ足し、その繰り返により、規定の耐力が得られる深さまで鋼管を圧入する工法。鋼管が支持層に到達後、建物をジャッキで持ち上げ(写真3)沈下修正を行う。なお、鋼管圧入するための作業スペースとして、基礎下の土深さ1m程度を掘削する必要がある。